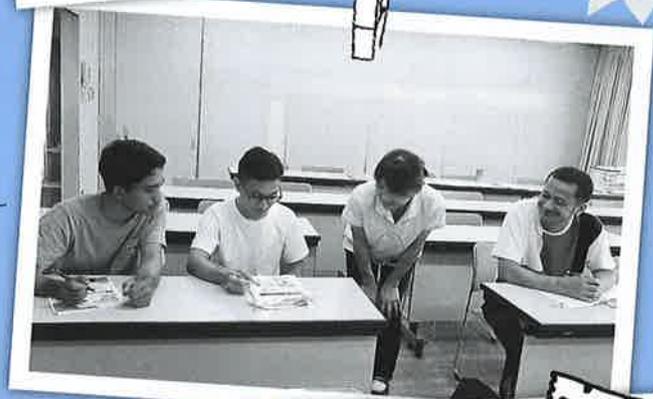


2024. 9

Takamatsu International Association News / TIA 新聞

# TIA News the Voice

Vol.64



(公財)高松市国際交流協会では、今後も、定例事業に加え、様々な事業・イベントを開催し、より多くの有意義な国際交流の場を提供いたします。新たな発見、新たなつながりを目指して、更なる国際交流に努めてまいります。今後の協会事業に、ふるってご参加ください！



編集・発行 公益財団法人高松市国際交流協会

当協会のHPは  
こちらから→



CHECK!

## 第26回中学生訪中親善訪問団派遣事業

中学生訪中親善訪問団派遣事業は、当協会海外国際交流の一環として高松市の中学生たちが中国を訪れ、両国の友好関係を深めることを目的として、両国の相互理解を促進し、若い世代に異文化体験を提供するために行われており、26回目を迎えました。

今回の訪問団は高松市内から選ばれた8名の中学生で構成されており、彼らは中国語の基礎を学び、中国の歴史や文化について事前に学習を行い、準備を整えて訪問に臨みました。高松市国際交流協会常務理事を団長に、事務局員が引率しました。

訪問団は南昌市と上海市に滞在し、現地の中学校を訪問して、互いの文化を紹介し合うワークショップや、スポーツや音楽を通じた交流活動を行いました。

また、ホームステイプログラムを通じて、現地の家庭での生活を体験し、日常生活の中で中国の文化を直接学びました。

さらに、滕王閣や上海外灘など、中国の歴史と文化を象徴する場所を見学し、その壮大さに感銘を受けました。

訪問を終えた生徒たちは、今回の経験について「非常に貴重な体験だった」と口を揃えて語っています。ある生徒は、「現地の中学生と友達になり、互いの文化について深く理解できたことが嬉しかった」と話し、別の生徒は「中国の家庭での生活を体験することで、異文化への理解が深まった」と述べました。



## 第57回さぬき高松まつり総おどり「国際交流おどり子連」

令和6年8月14日(水)、世界14か国・地域から集まった43名の外国人が「国際交流おどり子連」として第57回高松まつり総おどりに参加しました。今年も多様な文化が一堂に会し、祭りの雰囲気さをさらに盛り上げました。

### 「国際交流おどり子連」今年の見所

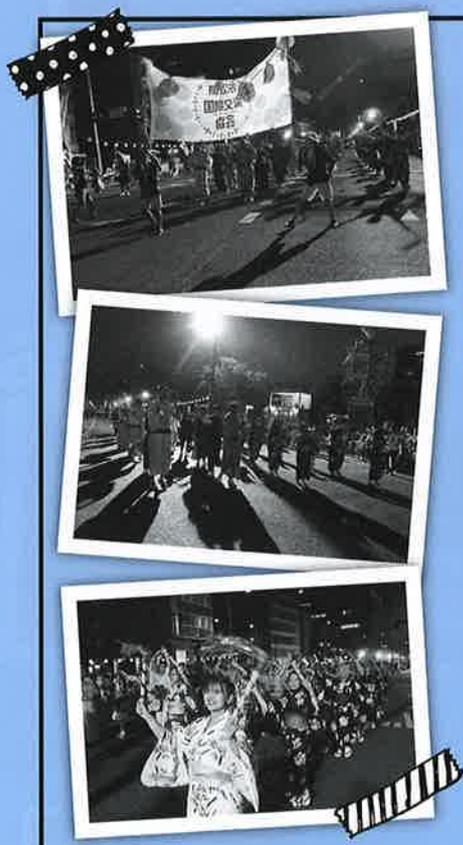
今年の踊りは「花火」をイメージしています。踊りの種類やスタイルは国によって異なりますが、共通しているのは、人々の心をつなぐ力です。さぬき高松まつりで、一緒に踊ることで、年齢や性別や国籍に関係なく、心をつなぐの思いがありました。このテーマに基づき、鮮やかな横断幕や踊り道具を作成しました。

### 多様性が生む魅力と交流

練習中、参加者たちは常に笑顔で溢れ、お互いに踊りのステップを教え合いながら友情を深めました。異なる文化や言語の壁を越えて、踊りを通じて交流する姿はまさに国際交流の醍醐味です。

本番当日、参加者たちは一つのチームとして結束し、多国籍なメンバーが一体となって踊りました。観客から大きな拍手と歓声を受けました。多様な文化が融合した踊りは、高松まつりに華やかな彩りを添え、参加者自身も心から楽しんでいる様子が伝わりました。

参加者たちは口々に、「一緒に踊ることで国境を越えた友情を感じた」と感想を述べていました。特に、初めて参加した方々からは「日本の祭りに参加することができ、とても嬉しかった」との声も聞かれました。来年もさらに多くの国と地域から参加者が集まり、高松まつりが国際色豊かに盛り上がることを期待しています。



# 令和6年度セント・ピーターズバーグ市高校生親善研修生派遣事業

新型コロナウイルス感染症の影響で中止になっていた派遣事業でしたが、5年ぶりに再開しました。高校生親善研修生3名はセント・ピーターズバーグ市でホームステイをしながら、様々な貴重な体験をして有意義な時間を過ごしました。

以下、各研修生の体験を通して感じたこと、学んだことを掲載しています。

## 香川県立高松商業高等学校3年 市橋 怜

### 『ポジティブ』

私は、今回のセント・ピーターズバーグ市高校生親善研修生派遣事業で、アメリカと日本の様々な違いを経験しました。その中でも、最も私の価値観を変えた違いは、コミュニケーションの取り方です。アメリカのコミュニケーションの特徴はなんといってもそのポジティブさです。日本と違って、知らない人とも会話することを恐れないし、「その服いいね」とか、会話の中で、相手をよくほめます。私も、アメリカの人たちを真似して、ポジティブな会話をするのを心がけました。最初は知らない人に英語で話しかけるのは怖かったけれど、慣れてみると意外と簡単で、相手をほめると自分もいい気持ちになりました。言う方も、言われる方もお互いに気持ちよくなる、このポジティブな会話はとても素晴らしいものだと思います。

私は、これからはこの経験を活かして、積極的にポジティブな会話を実践していきたいです。



## 香川県立三木高等学校1年 菅 紅羽

### 『気づいたこと』

私には、この10日間の研修を通して気づいたことがあります。ある日、ホストファザーが私に「どうして日本の人は写真を撮るときに、ピースサインをするのか？」と聞いてきました。確かに、いつも何気なくピースサインをしているけれど、「なんで？」と聞かれると、分かりませんでした。答えが分からず考えている私に、ホストファザーが「アメリカでは、ピースサインは楽しいときや嬉しいときにするんだけど、日本人はどんなときでもピースサインをするよね。」と言いました。私は何も答えることができませんでした。いつも当たり前に行っていることが、文化や価値観が違うことで当たり前ではないという事を実感しました。また、自分の国について「どうして？」と聞かれたときに答えられないことが、意外と多いということが分かりました。それほど自分の国について知らないことが多いということに驚きました。国際交流の第一歩として、自分の国について知る事がどれだけ大切か、そしてそれを伝えるのがどれだけ難しいことなのかを学びました。

この研修で学んだことを活かし、自分の国の文化や歴史についてもっと学びたいと思います。



## 香川県立高松西高等学校3年 原田 好美

### 『10日間の発見』

私は今回の10日間でたくさんの違いを発見した。

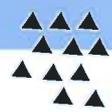
一つ目は気温だ。セント・ピーターズバーグ市は日本でいうと奄美大島と同じくらいの緯度で、サンシャインシティと呼ばれるほど日差しが強い街だ。だからなるべく薄くて通気性の良い服を持って行った。しかし、暑さや気候は高松市とよく似ており、少し高松市より過ごしやすい気温だったと思う。そして室内ではガンガンにクーラーが効いており、建物に入ると寒くて風邪をひきそうになるくらいだった。日本では省エネと言ってなるべく設定温度を高めにするが、アメリカではあまりそのような意識がないことにびっくりした。

二つ目は食べ物だ。ハンバーガーやパスタなどの洋食は日本人でも大好きだという人も多いのではないだろうか。私は揚げ物やバーガー、パスタが大好きでアメリカでいっぱい食べようと思っていたが、さすがに毎日このようなものばかりだと消化が悪く、残してしまった。残すこともアメリカの習慣のようでホストファミリーの人たちは結構残していた。

三つ目は体感時間の違いだ。日本人は外国の方と比べると忙しく生活しているとテレビで聞いたことがある。今回のプログラムは一日に1、2個の体験や施設を訪問する予定だったが、私のホストマザーは始終「忙しい」と言っていた。ホームステイで私を受け入れ、慣れない日常で忙しかったことには変わらないが、私にはこのスケジュールは少し余裕があるように感じた。

この10日間はあっという間で私のけがなどもあり、満足にできなかった部分もある。しかし、いつも会話の最初に私を気遣う言葉をかけてくれたホストファミリーやほかの研修生たちのおかげで、高松市の親善研修生としての役目を果たせ、楽しく充実した10日間を過ごせた。もう一度アメリカに行ってホストファミリーに成長した私を見せるという新たな目標ができたので、その目標に向かってこれからも前進していきたい。

# 令和6年度国際交流支援事業「コミュニティで国際交流しませんか」前期活動報告



## 【英語でフィリピンのおやつを作ろう】

日時：令和6年6月30日(日) 10:00-12:00

場所：高松市川島コミュニティセンター

講師：高松市外国語指導助手(ALT) アイベン・クレア・セニザー(フィリピン出身)

高松市川島コミュニティセンターを訪問し、小学生を対象に『英語でフィリピンのおやつを作ろう』を開催しました。講師のアイベンさんの英語の指導のもと、フィリピンのおやつ、「ピコ」をみんなで作ったり、フィリピンの文化や習慣、食べ物、アイベンさんの出身地、セブ島の美しい自然についても紹介してもらいました。また、フィリピンで人気のゲーム「Hep Hep Hurray」をみんなで楽しみました。作って、食べて、遊んで、楽しい異文化交流となりました。



## 【アメリカを知って作って遊ぼう】

日時：令和6年7月30日(火) 10:00-12:00

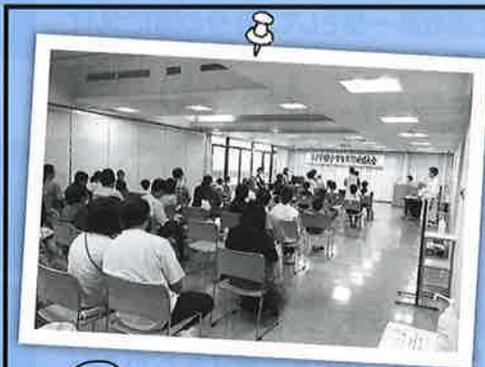
場所：高松市東植田コミュニティセンター

講師：ジョー・マコーリ(アメリカ出身)

高松市東植田コミュニティセンターを訪問し、小学生を対象に『アメリカを知って作って遊ぼう』を開催しました講師のジョー・マコーリさんが、出身地であるアメリカ、ペンシルベニア州サスケハナについて、またアメリカの小学校について紹介したり、動物の鳴き声や和製英語などの英語のゲームをしたりと色々なことを「知り」ました。「作る」では、箱を使って英語で自己紹介ができる「All about me cube」を作りました。分からない英単語をジョーさんに聞きながらみんなで作りました。「遊ぶ」では「Hot potato game」というアメリカの遊びを体験し、大変盛り上がりました！



## 第19回小学生英語暗唱大会



今年度の小学生英語暗唱大会は、令和6年8月25日(日)に開催しました。低学年は23名、高学年は22名が参加し、それぞれの暗唱文を発表しました。低学年の暗唱文は、自己紹介ができるようになることを目標にした文で、自分の身の回りのことを中心に発表し、審査員をはじめ観客の皆様も興味深く聞いていました。高学年の暗唱文は、パリオリンピックがテーマの文で、その理由の部分の自由な英作文として発表しました。小学生には難易度の高い英文でしたが、どの児童も英語らしい発音で聞き取りやすく、審査員の方々も感銘を受けていました。

たくさんの観客の方たちの前で発表することはとても難しいことですが、最後まで堂々と発表していました。

今後子どもたちにとって、この大会が英語で表現することへの自信や成長につながるきっかけとなるようにしていきたいと思えます。

## Kid's 国際理解出前事業

場所：国分寺南部保育所 さくら木太保育園 栗山幼稚園

講師：香川県国際交流員 ユン・ジユン(韓国)、チャンヤン・パーク(アメリカ)、コリーン・マキョーン(イギリス)

令和6年度の事業では、高松市内の幼稚園や保育所において、外国語によるあいさつや絵本の読み聞かせ、クイズ、さらには歌やダンスのセッションが行われました。外国人講師たちは、各国の文化や習慣を紹介するために様々なプログラムを準備しました。これにより、子どもたちは楽しみながら異文化に触れることができました。

事業に参加した子どもたちは、目を輝かせながら講師の話に耳を傾け、一緒に歌ったり踊ったりする姿が非常に印象的でした。多くの子どもたちは、「外国の人と触れ合うのが楽しかった」「新しいことをたくさん学べて嬉しかった」と感想を述べていました。

また、教職員からも「子どもたちが異文化に興味を持つ良い機会になった」「外国語や異文化に対する抵抗感が減った」という声が寄せられ、事業の成果が感じられました。



## 多文化共生イベント「一緒に暮らすこと」

多文化共生イベント「一緒に暮らすこと⑮」

【世界の学校をのぞいてみよう】

日時：令和6年3月24日(日) 13:00-15:00

場所：アイバル香川 交流フロア

ファシリテーター：香川大学教育学部 山下 直子教授

世界の子どもたちはどんな学校生活を送っているの？義務教育制度や、教科や制服、給食など気になる内容を各国のパネリストが紹介する「世界の学校をのぞいてみよう」を開催しました。

第1部の「世界の学校をのぞいてみよう」では、香川大学教育学部の山下教授をファシリテーターに、インドネシア、中国、イギリス、韓国出身のパネリストのみなさんが小学校、高等学校の教育制度を説明してくださいました。また、外国にルーツを持つ子どもたちの日本語教育状況を山下教授にご説明いただきました

第2部の「世界の遊びを楽しもう」では、各パネリストがグループをまわって各国の遊びを説明しました。

参加者のみなさんは、各国の遊びを楽しみながらパネリストのみなさんと楽しく交流を図っていました。



## 第31回さぬき探訪

第31回さぬき探訪は、高松ライオンズクラブと共催で「香川県立ミュージアム」を訪問しました。本来は「鬼ヶ島(女木島)探検の旅」でしたが、あいにくの大雨により訪問先を変更しての開催でした。世界7か国・地域から来た18名の在住外国人の方々に参加しました。

香川県立ミュージアムの歴史展示室や常設展示室では、香川県の歴史資料や美術作品を鑑賞しました。また、体験学習室には平安時代の貴族の遊びであった貝合わせやけん玉、こま回しなど、懐かしいおもちゃがたくさんあり、参加者のみなさんは夢中になって楽しみました。また、鎧兜と十二単の着付体験もさせていただき、とても盛り上がりました。

今後も、在住外国人の方にさぬきの魅力を知っていただけるよう、新しい企画を考えていきたいと思えます。



## はじめてのにほんご

協会では、今年度より日本語を初めて学ぶ方を対象とした「はじめてのにほんご」をスタートしました。様々な国籍の方が、講師の岩田先生の指導のもと日常生活や仕事で必要になる基本的な日本語を楽しく学んでいます。また、日本人ボランティアとの日常会話を通じて楽しく日本語が学べる「日本語会話クラブ」も開催しております。

自分に合った日本語学習を探しに、是非お気軽にご参加ください！



【はじめてのにほんご】 1-3学期制

日時：日曜日 10:00-12:00

※協会スケジュールに準ずる

場所：アイバル香川

対象：日本語 初級者

料金：無料 事前申し込み要

【日本語会話クラブ】

日時：毎週日曜日 13:00-16:00

※協会スケジュールに準ずる

場所：アイバル香川

料金：無料 事前申し込み不要

## 国際交流団体紹介 「日本語サークル「わ」の会」

私たちは、外国にルーツを持ち香川県で生活する人たちへの日本語支援を主な目的として、「言葉の壁」を低くするための活動をするボランティアグループです。活動の歩みは、今年の8月で30年目に入りました。

設立の種となったのは、1994年にアイバルで行われた日本語ボランティア養成講座でした。講座終了後、十数名の有志でボランティアのための勉強会を始めたことが、種から小さな芽を出した一歩でした。

小さな芽は、日本語教育の専門家の方々のごサポートをいただきながら、日本語支援活動に必要な知識やスキル向上のため勉強会を重ね、1年後の1995年8月に『日本語サークル「わ」の会』を設立しました。

多くの方々からいただいたサポートと設立メンバーの想いで種から芽吹いた木は根を張り、この30年で成長した幹は多くのボランティア会員によって枝葉を広げてきました。

時代と共に学習者の層やニーズは移り変わってきましたが、長い歩みの中で変わらないボランティア会員の想いがあります。「外国ルーツの人たちを、地域で暮らす隣人・友人として接する」この気持ちを大切にしてください。私たちが、これからも初心を忘れることなく続けていきたいです。

\* 活動場所：高松市四番丁コミュニティセンター \* 活動日時：毎週土曜日(祝日除く)13時30分～



# Information

参加費無料

## 毎週日曜『日本語会話クラブ』

13時～16時 アイパル香川 3F  
日本語を楽しく勉強しませんか？  
参加費無料！ ボランティア講師が  
参加をお待ちしています！



## TIAの今後の主な事業予定

2024年

9月28日 みんなの防災4  
—みんなでかがわ防災フェスタに参加しよう—

9月29日 国際交流こどもスクール  
せかいのおんがく教室【アメリカ編】

10月27日 第33回さめき探訪

11月10日 高松市姉妹都市トゥール市紹介イベント  
「映画で観るフランス」

11月17日 国際交流こどもスクール【フィリピン編】

12月15日 姉妹都市派遣研修生報告会/  
派遣親善研修生交流会

12月22日 第8回国際交流スポーツ大会

2025年

1月26日 国際交流こどもスクール【香港編】

2月2日 国際交流こどもスクール【中国編】

2月9日 にはんごスピーチ発表会2024

3月頃 第34回さめき探訪

第27回中学生訪中親善訪問団派遣事業

\* 詳しい日程が決まり次第、TIAのホームページやチラシ等でご案内しますので是非ご参加下さい。

## 国際交流団体等への助成金制度のお知らせ

当協会では国際交流団体等が国際交流を目的とする事業に対し、事業費の助成を行っています。

【助成限度額】 最大5万円、事業費の3分の1  
前年度、当協会が助成金を交付した団体について御紹介します。

【団体名】高松ユネスコ協会

【事業名】ユネスコ・クッキング・パーティ(第18回)

〈助成金を得たことによる効果〉

マレーシア、ミャンマーとも、ユネスコのクッキングパーティでは初めてのお国で、各国の歴史、文化、生活などについて直に理解を深めることができました。また東南アジア各国から若者が来県し、オイスカなどで研修生活している様子がよくわかり、彼らの頑張りに参加者から応援する声も聞こえました。お互いの国の歴史、生活、文化における考え方を理解するためには、市民レベルの交流が重要であることあらためて痛感しました。



【団体名】香川日韓交流協会

【事業名】やさしい韓国料理

〈助成金を得たことによる効果〉

韓国の薬膳料理を体験し、健康と美容に良い薬膳の知識について、理解を深めました。また、韓国と日本に調理法の違いなど興味深く、交流を行いました。



## 国際交流ボランティア募集

当協会では随時、国際交流ボランティアを募集しています。活動内容は語学ボランティア、ホームステイ受け入れ、事業運営、編集などです。興味のある方は是非登録願います。申込用紙は協会窓口にて、ホームページからもダウンロードできます。

## 「7カ国語会話集」好評発売中！

外国からのお客様が我が家にホームステイすることになったら「なんて言えばいいの??！」  
答えはこの中から見つかります。 100円



LINE登録で、イベント情報等を受信！



(日本語)



(English)

## 外国人留学生学習・交流活動支援事業について

高松市内に在住する留学生に対し、学習支援及び交流活動支援を実施する予定です。  
詳しくは、事務局へお問い合わせ下さい。

## 編集後記

今年の3月に続き8月にも中国を訪問する機会を得ました。訪問中は過密な日程とも思われるほど歓迎してくれましたが、なかでも三度の食事はとても素晴らしく、それを美味しく食べるために体調を整えていたほどです。結果、中国での食べ方や余分な脂肪をしっかりと身に付けて帰ってきたところですが、帰国後、疲れからか体調を崩し何日か食事をとらなかったことで、少し元のお腹に戻したところです。これから食欲の秋、皆様ご自愛を T.K



TAKAMATSU INTERNATIONAL ASSOCIATION  
公益財団法人高松市国際交流協会

〒760-0017 香川県高松市番町一丁目11番63号 アイパル香川内  
TEL 087-837-6003 FAX 087-837-6005

IPAL KAGAWA, 11-63 Ban-cho 1-chome Takamatsu, Kagawa

E-mail : tia@kgw.enjoy.ne.jp

ホームページアドレス <http://tia-takamatsu.jp>